社会福祉法人 刀圭会 带広市

【福祉戦隊トウケイジャー】

★取組みについて

幼稚園や保育所等に慰問し、戦隊モノの寸劇を通して、道徳教育や福祉への啓蒙活動を行う。

★取組みを行って

高齢者主体の事業展開をしているので、何か子供向けの関わりができないだろうか?というところから企画スタート。慰問に行った園児から嬉しい手書きの絵もプレゼントされ、法人の宝となっている。



社会福祉法人 札幌慈啓会 札幌市

【近隣幼稚園との交流、中学校の職業体験教育への協力】

★取組みについて

近隣幼稚園との交流については、毎年数回にわたり大勢の園児が施設を訪れ、踊り や歌の披露や手遊びなどを通じて施設利用者とのふれあいの機会をつくります。中 学生の職業体験は、参加した生徒に行事の手伝いや車いすの操作・試乗体験等を通 じ、施設の役割等を理解してもらう取組みです。

★取組みを行って

施設の運営方針である「地域に開かれた施設」としての事業活動の一環として、近隣の幼稚園や学校からの要請を受入れる形で始まり、交流の中で子供たちが利用者や職員と身近に接してもらうことにより、高齢者や介護施設に対する理解を深め、教育的な意味での成長に役立てていただいています。

社会福祉法人 びえい子育て応援団

美瑛町

【ふれあい交流活動】

★取組みについて

1私立幼稚園との交流

人と関わる経験を増やし、職員の資質向上につなげる。内容は相互訪問交流(園庭遊び、雪山遊び等)

2.小学校との交流

目的は小学校への親しみや関心をもたせる。内容は授業体験、発表会の見学、相互訪問交流

3.老人福祉施設との交流

目的は幅広い世代との交流から豊かな経験をする。内容はクリスマス時期に訪問し、プレゼントを持参し遊戯披露

★取組みを行って

1.私立幼稚園との交流

経緯は小学校へ行ってからの友達作りのきっかけを作る事から始まった。成果は 保育園以外の友達との関わりが増えた。

2.小学校との交流

経緯は小学校への不安の軽減と期待をもたせる。

3.老人福祉施設との交流

経緯は幅広い世代と関わる経験を増やす。

成果は訪問により喜んでもらえた。



社会福祉法人 富良野あさひ郷

富良野市

【小学校等での出前陶芸教室を開催】

★取組みについて

この取り組みは、小学生や園児に陶芸の楽しさを実感していただくものです。 小学校等での親子行事や学級行事の際に陶芸(粘土)教室の要請があり、それに応 えるために取り組みました。

★取組みを行って

年間 10 回程度、小学校等に出向き出前陶芸教室を開催しています。

陶芸は、限られた時間内でもカタチに出来、大人から子供まで気軽に取り組めるものです。

講師として、職員だけが学校にお邪魔するのではなく、ご利用者も一緒に訪問し、 時には一緒に作品をつくります。

出来上がった作品は、施設に運び、窯を使用し最終的な完成となり、製作者にお渡しします。





社会福祉法人 あけぼの福祉会 岩内町

【障がいについての学習会と交流会】

★取組みについて

町内の小学校へ職員が講師として訪問し、障がいについての授業を実施。

更に後日、施設に来園して頂き、利用者と一緒にしいたけ採取やスロットボールゲームを行い交流を図っている。

この取組は障がいへの理解推進と将来福祉の担い手を育てる目的から取り組みました。

★取組みを行って

地元唯一の障害者支援施設として、障がいについて地域の小学生に理解してもらう機会を作りたいと考え、町内の小学校を直接訪問し、協力や理解を得られるようになった事から始めた。(授業1日と交流会1日の計2日実施)

今現在もこの取組は継続しており、子供や保護者から支持を頂いている。





社会福祉法人 ニセコ町社会福祉協議会 ニセコ町

【幼保・学校・施設・地域との交流(ニセコ福祉まつり)】

★取組みについて

この取り組みは、町、地域の福祉団体(共催)や地域のボランティア団体や商店(企業)・学校、個人等の協賛・協力のもと、9月の第1土曜日もしくは8月の最終土曜日に実施しており、令和元年度をもちまして21回目を迎えます。高齢者や障がい者を始め、福祉に関わる人々と地域のふれあいを目指して開催されており、毎年およそ300名以上の方の来場・参加をいただいています。

★取組みを行って

この取り組みは、現在実行委員会のメンバーであり、共催者のひとつである町内の特別養護老人ホームやデイサービスなどの施設を運営する福祉法人としての行事でしたが、平成11年より町内の福祉事業に関わる団体を取り込み、新にスタートしました。

社会福祉法人 營美会 旭川市

【中学生とのふれあい交流】

★取組みについて

この取組は、中学生の家庭科の授業の受け入れ先として、当こひつじ保育園が選ばれた事で始まりました。クラスごと 1 クラス 35 名~40 名の受け入れという事と、中学生と当園児童との大きさや年齢差を考え交流内容に悩んだり、保護者の理解を得られるか等たくさんの課題がありました。中学校や保育園で感染症が流行した場合は、連絡を取り合い延期にした事もありました。

★取組みを行って

最初は、1つの中学校の教頭先生の依頼からはじまりました。今では2つの中学6 クラスの中学生と交流をしており、当園の児童も大喜びですし、最初の悩みだった 活動内容もクラスのカリキュラムに合わせ、中学生を6~7人入れる事で、安全で自 然に交流ができるようになりました。

中学生の中には、当園の卒園児もおり懐かしんでくれます。交流の感想では「結婚がしたくなった」「子どもは思ったよりかわいい、子どもが欲しくなった」「子どもの頃お母さんと、保育園に通っていた事を思い出した。」「小さい時とてもかわいがられていた事を思い出した。」「保育士になりたくなった」等の感想をもらい、とても良い交流ができていると実感しています。交流も今年で12年目となり計1500名以上の中学生が来園してくれました。

社会福祉法人 愛誠会 むかわ町

【認定こども園との交流会】

★取組みについて

園児や地域住民とのふれあいによって、利用者様の「生きがい」や「QOLの向上」に繋げる、又、地域住民に対し、事業所や地域に住んでいる高齢者への理解を推進することを目的としている。

★取組みを行って

デイサービス事業所として年間4回開催している交流会を、現在では併設している ケアハウスの利用者様も参加し、様々なレクリエーションに取り組まれることで、 利用者様の「生きがい」となっている。

社会福祉法人 中標津有隣福祉会 中標津町

【医療法人訪問】

★取組みについて

保育園児による高齢者との交流を実施

★取組みを行って

高齢者との交流により、お年寄を大切にする心が育まれた。

社会福祉法人 室蘭言泉学園

室蘭市

【いずみ子ども会】

★取組みについて

いずみ子ども会は地域の子育て家族やひとり親家庭の児童などを対象にして、子どもが見て楽しめかつ子どもの情操を育む名作アニメ等の上映会を実施するとともに、 当該児童間及び入所児童との交流を図ることを目的に立ち上げました。

★取組みを行って

いずみ子ども会では今までに2回の映画上映会を行い、それぞれ50名程度の児童や保護者の方などに参加していただきました。上映会では無料でジュースやおやつを提供し、大スクリーンで映画上映を行っており、参加者からは「映画みたいで楽しかった」等の声をいただいております。また、子どもや家庭間での交流の場としても活用してほしいと考えており、今後は映画上映以外にも交流会などを企画していく予定です。

社会福祉法人 室蘭福祉事業協会 室蘭市

【地域の小学校との交流】

★取組みについて

この取り組みは、世代間交流、施設や介護について理解を深めてもらうために実施しています。

施設から相談員が小学校を訪問し、施設の紹介や介護について一時間半程度お話を させてもらい、後日施設見学に来てもらって交流するものです。

★取組みを行って

6年前より総合的な学習の一つとして小学校から依頼があり、世代間交流で施設に訪問してもらっていましたが、現在は、毎年1回小学校に職員が訪問し、施設の紹介や介護についてと、福祉用具の使い方などを説明し、その後施設を訪問してもらい、各個人で課題を作成し、訪問時に課題を確認していく内容となっています。学びの場に介護が入ることで、介護職を目指してくれることを期待して、興味をもってもらえるように車椅子や歩行器を実際に使ってもらい、高齢者、障がい者の方と自然と交流できるような工夫をしています。子供たちは個々に課題を作成し、積極的に質問してくれています。

社会福祉法人 わかば会 上富良野町

【老人ホーム慰問 啓発音楽パレード参加】

★取組みについて

年2回町立の老人ホームに、春は鯉のぼりをもって、秋はお遊戯を披露して、お年 よりに見ていただいております。核家族が多くなり、老人との接点を大切にしたい 事、高齢化が進み、お年よりにも認定こども園の子供達のエネルギーをわけてあげ る事により、お互いに喜びをわかちあう目的(3歳~5歳児)、又毎年町の啓発音楽 パレードに4、5歳児鼓笛隊が参加している。

★取組みを行って

老人と接点をもつ事により、心やさしい子供達に育ってもらいたいため、毎年歌に 手遊びをつけて、一緒に歌ったり、手遊びしてもらったり工夫している。この活動 は 20 年以上続いている。

「町を明るくしよう」と小さな時からの教育が大切と実施。子供達も町民が見てくれる喜びも有る。

社会福祉法人 大成慈恵会 せたな町

【地域住民、子ども達、介護保険施設利用者との交流】

★取組みについて

施設を地域に開放して地域住民、子ども達、入所者家族とレクリエーションを一緒に行うことにより、ふれあいを通じて交流、相互理解を深めることを目的とする。昭和63年度から地域交流を目的として年1回開催。当初は、入所者・家族・地区小学校を招き参加型の内容を行っていたが、入所者の重度化により観覧型のレクリエーション会(アトラクションの実施、じゃんけん大会、露天コーナ)へ移行。入所者家族との交流を基本とし、グループホーム利用者、口コミで訪れる児童等との交流が中心となった。

平成30年度より、地域との結びつきを更に強め、より開かれた施設を目指すため 地区町内会を招き事業を行った。

★取組みを行って

アトラクションショーを楽しんでいただき、じゃんけん大会に参加した方々同士が 交流を深めることができた。

地域の方から来年も招待してほしいとの声が多くあり、地域との距離感が近くなることが期待できる。

また、地域女性団体の方より、慰問、ボランティアの依頼があり連携も深まった。 地域高齢者、児童、グループホーム利用者などが一緒に参加することにより心身の 活性化ができた。

今後も毎年、7月の第1日曜日の開催を固定し、地域の行事としても継続できるように取り組むとともに町内会等への周知も徐々に拡大し過疎化が進む地域の交流の場としての役割も果たしていきたい。また、高齢者の外出する機会、人とふれあう機会としてサポートすることにより孤立感の解消など地域福祉に貢献していきたい。